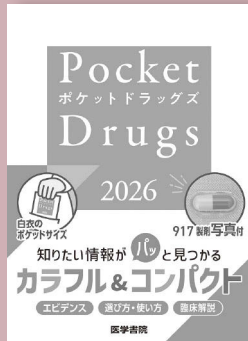


今月の 新刊紹介



Pocket Drugs 2026 (ポケットドラッグズ 2026)

監修：福井次矢
編集：小松康宏、渡邊裕司
発行：医学書院
定価：5060 円 (本体 4600 円 + 税 10%)
A 6 判 1264 ページ

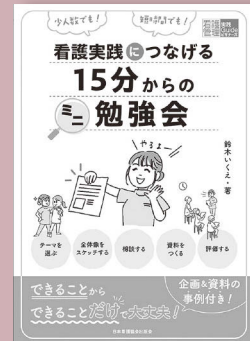
治療薬を薬効ごとに分類し、冒頭に「臨床解説」を掲載。各薬剤情報では、すぐに役立つ「選び方・使い方」、薬剤選択・使用時の「エビデンス」をコンパクトにまとめた。主要な薬剤は写真も掲載し、フルカラーで欲しい情報がすぐに見つかる。



実践 マタニティ診断 第 6 版

編集：日本助産診断実践学会
発行：医学書院
定価：4290 円 (本体 3900 円 + 税 10%)
B 5 判 312 ページ

今版では、診断名の追加や修正に加えて、産後期の児の診断名を独立させ、乳児期を新設した。これは産後の母親の心身状態を捉えつつ、乳児をみる視点を強化するねらいである。情報収集から分析、診断、さらにケア計画立案まで、助産師の思考過程を丁寧に示す好評書。



看護実践につながる 15 分からのミニ勉強会

著：鈴木いくえ
発行：日本看護協会出版会
定価：2420 円 (本体 2200 円 + 税 10%)
A 5 判 128 ページ

大掛かりな準備はなく、15 分から始められ、身近なテーマで看護師たちが自分の言葉で語り、回数を重ねることで学びの定着を目指す「ミニ勉強会」。中小規模病院や高齢者施設など、小集団だからこそできる「等身大の学び」を看護実践につなげる 1 冊。



専門家なしでやってみよう！ オープンダイアログ 安全な対話のための実践ガイド

著：石田月美、頭木弘樹、鈴木大介、樋口直美
発行：晶文社
定価：1980 円 (本体 1800 円 + 税 10%)
四六判 284 ページ

オープンダイアログは繰り返し対話するだけで効果があるとして精神医療やメンタルケアの世界で注目されるが、実は病気や困りごとを抱えた当事者だけで安全に実施できる。ただ聞き、ただ話す——「当事者」である物書き 4 人の対話を基に作成したガイドブック。



歴史文化ライブラリー-626 乳と捨て子の〈近代〉 産み育てる現場から

著：沢山美果子
発行：吉川弘文館
定価：1980 円 (本体 1800 円 + 税 10%)
四六判 238 ページ

乳と捨て子を切り口に、産み育てる現場から、子どものいのちをつなぐ営みのあり方の変化を歴史的にたどる。生命観、子ども観、家族観の変化のプロセスを探り、母親たちを根強く縛っている、子育ての担い手を母に一元化する「母性」規範を相対化する。



新 問いかけの作法

著：安斎勇樹
発行：ディスカヴァー・トゥエンティワン
定価：2090 円 (本体 1900 円 + 税 10%)
四六判 360 ページ

「見立てる」「組み立てる」「投げかける」。この 3 つのサイクルを回すことで周囲の思考を促し、才能を引き出し、予想を超えたパフォーマンスを生み出す。本書は問いの組み合わせ方や質問技法など、実践のための質の高い問いかけの作法を伝授する。